



「馬頭星雲」

オリオン座三ツ星の一番東側の星の近くにある暗黒星雲です。

周囲の散光星雲（赤い領域）を背景に、暗黒星雲（黒い領域）が「馬の頭」のような形をしていることから、馬頭星雲と呼ばれます。（2012.10/13, φ7.6cm 屈折望遠鏡で撮影）

撮影者：三須幸一郎(知財部門長)

3月の特許相談会



※今月は鳥取地区のみで開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

【鳥取地区】

相談員：滝本智之弁理士
(電気・機械関係他)

日時：3月5日(火) 13:30より
場所：産学・地域連携推進機構 2階 会議室

相談員：富田憲史弁理士
(医獣・バイオ関係他)

日時：3月6日(水) 13:30より
場所：産学・地域連携推進機構 2階 研修室

【目次】

3月の特許相談会	1
【お知らせ】鳥取大学 特許集 2013	2
【報告】第9回中国地域産学官連携コンソーシアム外部評価委員会	3
【お知らせ】利益相反セミナーの開催	
ひとこと用語集 「知的財産権」とは	4
【報告】特許相談会・発明審査委員会の件数	

鳥取大学 特許集2013

「鳥取大学 特許集2013」を製作中です！

「鳥取大学特許集」は本学で出願した特許を分かりやすく紹介する目的で、2009年（平成21年）から発行しています。これまでは「鳥取大学知的財産シーズ集」という名称でしたが、今年から「鳥取大学特許集」と名称をリニューアル致しました。今年で5号目となる本号では、全65シーズが掲載されており、その内未公開特許を中心に新規案件を13シーズ追加致しました。

冊子のご希望があれば、下記連絡先までご連絡下さい。

知的財産管理運用部門

Email : chizai@adm.tottori-u.ac.jp

TEL : 0857-31-6000



新規案件一覧

技術分野	技術の名称【副題】	代表発明者 (出願時所属部等)	頁
医療・健康	アルツハイマー型認知症に対するハーブの有用性	浦上 克哉 (医学系研究科)	1
	新規生物学的ペースメーカー	久留 一郎 (医学系研究科)	2
	ヒト間葉系幹細胞を肝細胞へ分化誘導する新規化合物の合成と解析	汐田 剛史 (医学系研究科)	3
食品・バイオ	魚類の鰓から軟骨を単離する方法	清水 克彦 (産学・地域連携推進機構)	18
機械・加工	不揮発性半導体記憶装置および同装置の製造方法	木下 健太郎 (工学研究科)	29
材料・化学	ファイバー状の酸化物結晶が集積したニオブ・タングステン積層触媒を開発	奥村 和 (工学研究科)	41
	耐熱性の高い金ナノ粒子触媒を開発	奥村 和 (工学研究科)	42
情報・制御	球面勾配による魚眼画像からの細い車線の検出法	李 仕剛 (工学研究科)	46
	離散球面画像の勾配の算出法	李 仕剛 (工学研究科)	47
	エッジ点の勾配情報を利用した高精度な直線検出法	李 仕剛 (工学研究科)	48
	冗長な文章の改善支援システム 【教師あり機械学習と言い換え技術を利用した文章改善】	村田 真樹 (工学研究科)	49
環境・エネルギー	高起動性と高効率を両立するバタフライ風車	原 豊 (工学研究科)	59
	リグニン溶解性イオン液体、リグニン溶解性イオン液体を使用したバイオマスからのリグニン抽出方法	伊藤 敏幸 (工学研究科)	60

「鳥取大学 特許集2013」は、鳥取大学のホームページにも掲載しています。



<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/chizaiseeds/>



第9回中国地域産学官連携コンソーシアム 外部評価委員会

× 日 時：平成25年2月28日（木）13:30～17:30

× 会 場：岡山大学 本部棟6F 第1会議室（岡山市北区津島中1-1-1）

中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）における第9回目の外部評価委員会
が岡山大学で開催されました。本会議では、さんさんコンソ事務局から平成24年度下期の活
動報告と平成25年度以降の活動計画が説明されました。さんさんコンソの運営のための支援
を受けている文部科学省・イノベーションシステム整備事業（大学等産学官連携自立化促進プ
ログラム）は本年度で終了しますが、事務局は引き続き、岡山大学と鳥取大学が継続して運営
していくことや、来年度以降の活動については「産から学へ」の情報提供に重点を置く事など
が説明されました。外部評価委員からは、活動が順調に進むための貴重な意見やアドバイスを
多くいただきました。



利益相反セミナーのお知らせ

- 日 時 平成25年3月15日（金）15:00～16:30
- メイン会場 鳥取大学 広報センター 2階 スペースC
- 米子会場 鳥取大学 医学部 旧保健学科棟 2階 第2会議室
（テレビ中継）
- プログラム 15:00 開会挨拶
15:10～16:20 講演
演題「国立大学法人における利益相反マネジメントの現状」
一般社団法人発明推進協会 知的財産プロデューサー 佐々木 茂雄 氏
（山梨大学 燃料電池ナノ材料研究センター客員教授、鳥取大学客員教授）
16:20～16:30 質疑応答

《お申込み、お問合せ》

鳥取大学 産学・地域連携推進機構
知的財産管理運用部門（三須、加藤）

E-mail: chizai@adm.tottori-u.ac.jp

TEL: 0857-31-6000

FAX: 0857-31-5474

ひとこと用語集

知的財産権

知的財産権制度とは、知的創造活動によって生み出されたものを、創作した人の財産として保護するための制度です。「知的財産」及び「知的財産権」は、知的財産基本法において次のとおり定義されています。

<参照条文> 知的財産基本法

第2条 この法律で「知的財産」とは、発明、考案、植物の新品種、意匠、著作物その他の人間の創造的活動により生み出されるもの(発見又は解明がされた自然の法則又は現象であって、産業上の利用可能性のあるものを含む。)、商標、商号その他事業活動に用いられる商品又は役務を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報をいう。

2 この法律で「知的財産権」とは、特許権、実用新案権、育成者権、意匠権、著作権、商標権その他の知的財産に関して法令により定められた権利又は法律上保護される利益に係る権利をいう。

知的財産の特徴の一つとして、「もの」とは異なり「財産的価値を有する情報」であることが挙げられます。情報は、容易に模倣されるという特質をもっており、しかも利用されることにより消費されるということがないため、多くの者が同時に利用することができます。こうしたことから知的財産権制度は、創作者の権利を保護するため、元来自由利用できる情報を、社会が必要とする限度で自由を制限する制度ということができます。

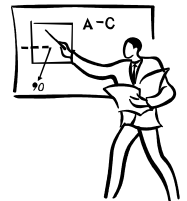
(引用：特許庁ホームページ http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/seido/s_gaiyou/chizai02.htm)

2月の件数

定例特許相談会の件数

滝本智之 弁理士(電機・機械関係他) ……3件

富田憲史 弁理士(医獣・バイオ関係他) ……4件



発明審査委員会の件数 ……3件

刊行物
知財部門ニュース
み・ん・なのニュース3月号
<72号> (通番101号)
2013年3月1日発行
編集・著作：
知的財産管理運用部門
発行：鳥取大学
産学・地域連携推進機構



*** 編集後記 ***

もう3月になりました！1月からあっという間に過ぎて行ったように感じます。新年度に向けて、充実した日々を過ごしましょう。

*** 特許等の相談 ***

相談員：三須 幸一郎(部門長・教授) TEL：0857-31-6000(直通)
(又は内線 2765)

山岸 大輔(副部門長・助教) TEL：0857-31-6094(直通)
(又は内線 4072)

場 所：産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門
E-mail アドレス：chizai@adm.tottori-u.ac.jp
FAX 専用：0857-31-5474 (又は内線 2771)

産学・地域連携推進機構 HP：<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>